

魅力解説

表頁の地図に付してある番号地点を紹介します

自然が織りなす造形や景観、歴史ある文化的跡地、昔からの言い伝えを残す場所など、様々な場所が存在します。是非、足を運んでいただき、「見て」「感じて」ください。

※ ②から④は、現存していません。

<p>① 永町山城跡</p>  <p>戦国時代の武将温科氏の居城であった。明応7年(1499年)から278年に及び永町山城主として君臨した。</p>	<p>② 献穀田</p>  <p>天皇陛下に献上する米を作る田んぼで、高尾山から流れる綺麗な水があったことから当地が選ばれた。</p>	<p>③ 水車</p>  <p>温品川は、過去、水害で人々を苦しめたが、大正初期までは水車が多くあり川の恵を受けていた。</p>	<p>④ 川手牧場跡地</p>  <p>大正15年の温品川の大水害によって流れた農地を肥やすため作られた。昭和20年中国新聞輪転機が疎開。</p>	<p>⑤ 岩谷寺</p>  <p>高尾山山頂に岩谷観音堂として祀られていた。昭和44年に温品四丁目の現在地に堂宇を再建された。</p>	<p>⑥ 高尾山</p>  <p>標高424m。水分神社から登られることが多く、岩谷観音跡や岩谷観音岩峰があり、眼下に広島市内が見渡せる絶景。</p>
<p>⑦ 高尾山岩谷観音跡</p>  <p>約700年前に建立。観音菩薩は、漁を取るための網に引っ掛りあがってきた石像と言われている。</p>	<p>⑧ 清水谷神社</p>  <p>創建年是不詳。神功皇后が九州に御幸の際、この地に船を留め白地岩にて3日3晩滞在して清水で洗米した。</p>	<p>⑨ 白地岩</p>  <p>神功皇后が岩の上で3日3晩滞在し、皇后が去った後、武内宿弥が太刀を取りに帰ったという伝説から名付けられた。</p>	<p>⑩ 清水の滝</p>  <p>清水谷神社の裏手の滝。昔は滝壺が深さ2m、広さが10畳位であった。毎年8月6日原爆慰霊祭の「献水」とされている。</p>	<p>⑪ 菰口の延命水</p>  <p>菰口憩いの森の下付近にあり、江戸時代から祀られている「延命地蔵」の井戸水でラドンを含み、万病に効く霊水である。</p>	<p>⑫ 上温品第四公園</p>  <p>公園内には、カラフルな遊具、トイレが整備され、子供連れも安心して遊べる。春には、美しい桜が見られる。</p>
<p>⑬ 旭ヶ丘団地桜並木</p>  <p>旭ヶ丘団地入口から一つ目を右折すると右手に美しい桜並木を見ることができる。</p>	<p>⑭ 鶴が台団地上高架</p>  <p>鶴が台団地を上がっていくと、高速1号線に突き当たり高架が現れる。高架からは温品及び広島市内の景観が美しい。</p>	<p>⑮ 水害碑</p>  <p>大正15年9月の水害(家屋流出100棟、死者4名)の記憶を末永く留めるために、昭和5年9月に建立された。</p>	<p>⑯ 温品光霊苑前道路</p>  <p>おだ温品店を左手に道路を上っていくと、温品光霊苑前の道路において、眼下に市内の景観が眺められる。</p>	<p>⑰ 矢田の御神木</p>  <p>ここには昔、夫婦愛情の神様である伊佐那命を祭神とした「新宮社」があり、墓地ができた時にご神木として祀った。</p>	<p>⑱ なまこ壁</p>  <p>温品郵便局隣には、漆喰をなまこ型に設えた日本の原風景「なまこ壁」の蔵を見ることができる。</p>

特集

知っているようで知らない

高尾山

を極める

滝

高尾山に「滝」があることをご存じでしょうか？
 県道70号線(温品通り)の安芸高校入口交差点から安芸高校を目指して登っていくと、右手に「くぬぎの森」を見ながら三差路を曲がってすぐに「豊谷登山道」があります。登山道を上ると、右に遊歩道、左に続きの登山道となっており、右の遊歩道を選択すると砂防ダムに突き当たるまでに、6つの「滝」を見ることができます。
 その他、3つの滝を見ることができます。(右下のマップを参照してください。)
 ただし、湧水期などにおいては、はっきりと「滝」と認識できないかもしれません。さあ、あなたは幾つ滝を見つけられるでしょうか？
 (この情報及びマップ・画像は、上温品にお住いの「遊川 真二」様から提供を頂きました。)

仏

高尾山には、石に彫られた「菩薩」「仏」などがあります。
 左から「菩薩岩」「大日如来」「未完の石仏」「岩谷観音(生観世音菩薩)」「千手観音」です。岩谷観音の頂上又は登山道途中で見ることができます。

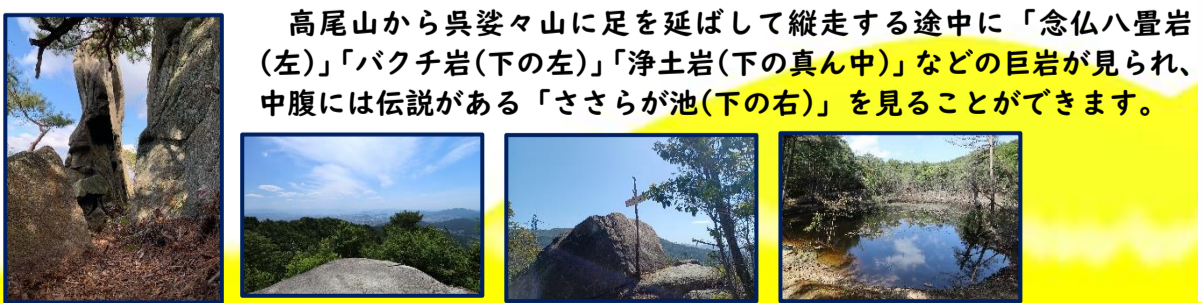


昔

高尾山には、「高尾山 岩谷寺」が建立されていました。
 いわれは、平安時代末期、近藤三郎左衛門という甲斐の国の武士が伊勢の沖まで海に出て漁網を降ろすと、観音様の石仏が網に掛かり家に持ち帰って安置しました。
 その後、武士の身分を捨てて安芸の国へ来て高尾山に観音堂を建立して、この石仏を安置したといわれ、明治16年に真言宗高野山から「高野山 岩谷寺」の山号を受けて多くのお堂も建立されていました。春の祭礼日には、屋台が並び多くの参拝者で賑わったそうです。
 昭和42年に本堂の一部が消失したことにより、温品の平地に「岩谷寺」として再建され、石仏もこちらに安置されています。

岩

高尾山から呉娑々山に足を延ばして縦走する途中に「念仏八畳岩(左)」「バクチ岩(下の左)」「浄土岩(下の真ん中)」などの巨岩が見られ、中腹には伝説がある「ささらが池(下の右)」を見ることができます。



都会の動線 菩薩の滝 MAP

登り道: 9段々の滝, 8行者の滝, 7一筆の滝, 6 鐘の滝, 5 出雲の滝, 4 菩薩の滝, 3 すだれの滝, 2 とこなめの滝, 1 二段の滝

遊歩道: 6 鐘の滝, 5 出雲の滝, 4 菩薩の滝, 3 すだれの滝, 2 とこなめの滝, 1 二段の滝

砂防ダム: 7, 8, 9

岩谷観音, 岩谷登山口, くぬぎの森, 安芸高校入口バス停, 山崎病院, 温品郵便局, 安芸高校, 豊谷登山口, 公園トイレ, 湯道TO目録